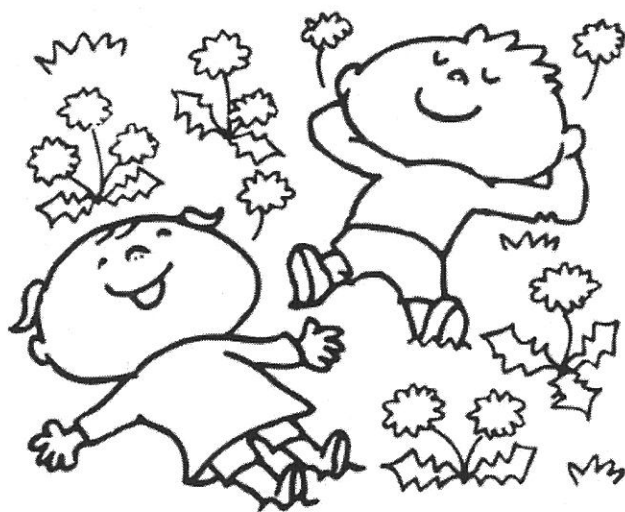


R7年度

保育課程



糸魚川東保育園

糸魚川市一貫教育基本方針 ひとみかがやく日本一の子ども

保育目標

ひとみかがやく子ども

◎思いやりのある子 ◎夢中になって遊ぶ子 ◎元気な子

重点目標 好奇心にあふれ、知りたがりにやりたがりの毎日にひとみかがやかせる子
～子ども本来の姿を乳幼児期に～

各年齢の目標

- | | |
|--------------|---------------------------------|
| 5歳児（ ゆ り組） | ・自信をもって生活していこう |
| 4歳児（ すみれ組） | ・心揺れ動く体験を重ねていこう |
| 3歳児（ ば ら組） | ・のびのび好きな遊びを楽しもう |
| 2歳児（ さくら組） | ・安心して過ごす ・やってみよう！を存分にしよう |
| 1歳児（ちゅうりっぷ組） | ・安心して過ごす ・探索をいっぱいしよう |
| 0歳児（ ひよこ組） | ・安心して過ごす ・いっぱい遊んでいっぱい食べていっぱい寝よう |

～自ら育とうとする子どもたちを応援するために～

- ・温かさと優しさたっぷりの愛情で、一人ひとりの子どもを大切に、安心して生活できるようにしていく。
- ・子どもの表しや気持ちに寄り添い、保育者が心地の良い大好きな人、嬉しい人となれるようにかかわっていく。
- ・その子の良さやその子の今の姿を認め、ありのままの自分でいいんだという自己肯定感を育てていく。
- ・子どもの主体性を大切に、『自ら』動き出す姿に保育者も心を寄せ見守ったり、かかわったりしていく。
- ・子どもの知りたい・やりたいという意欲を大切に、思う存分夢中になれる時間や環境の保障をし、何よりかわる保育者もワクワクしながら子どもの持っている力や学びを支えていく。
- ・つまずきや葛藤、モヤモヤする負の感情体験も大切に、あきらめない心・乗り越えていく力を育てていく。
- ・友だちと一緒にドキドキしたり、悲しくなったり、嬉しくなったりすることで、友だちと心がぎゅっと近づき、心通う共通体験を積み重ねていけるようにする。
- ・生活の中で様々な経験を重ね、して良いこと悪いことが分かったり、きまりを守る必要性を知ったりできるよう、年齢や発達に合わせてかかわっていく。
- ・異年齢のかかわりを大切に、人とかわる心地良さや楽しさ、思いやりの気持ちを感じられるようにしていく。

～自ら育とうとする力の土台は～

愛着形成（心がつながって安心いっぱい）子どもも大人も共に感じる安心

「私はあなたが大好き」「心から可愛い」「あなたを大事に思っているよ」「あなたの味方だよ」と温かさのもと一人ひとりがいつも「愛されている」「守られている」と思えることが大切です。

先生は子どもたちが大好き！子どもたちも先生が大好き！そんな安心する互いの関係性から成り立ちます。

安心した土台（安定した情緒）を基盤として、子どもたちはいろいろな世界へと羽ばたいていきます。

羽ばたいた先で、幸せに生きていく為に『いろいろな力』や『たくさんの学び』を獲得していきます。

子どもは生まれながらにして、自ら育とうとする力（生きる力）をもって生まれてくる。

3本柱が育まれる方策

思いやりのある子
（豊かな心）

- ・やっていること、やっている時の気持ちを見守ったり、認めたりし、その子の良い所に目を向け、子ども自身がありのままの自分でいいんだ。という精神的な安定が図れるようにしていく。
- ・人やもの、ことなどにかかわる中で、嬉しい・楽しい・悔しい・悲しいなどさまざまな心の動きを大切にすること。
- ・けんかや葛藤体験では、他の子の気持ちにふれ、ぶつかる力と収める力が子どもの心にあることを分かり、見守ったり真剣に向き合ったりし、感情を調整する心を育てる。
- ・気持ちの良い挨拶を交わす心地良さが感じられるよう、大人が見本となっていく。
- ・異年齢児とのかかわりの中で、やさしさや思いやりの心を育てていく。
- ・草花を育てたり、小動物とふれ合ったりすることで、命の大切さを感じ、いたわりの心を育てる。

夢中になって遊ぶ子
（確かな学力）

- ・子どもたちが自ら一歩を踏み出す姿を優しく見守り、丁寧にかかわったり、不安な時は寄り添ったりし、安心してやりたいことが存分にできるようにしていく。
- ・子どもが気づきや驚きを大切に、いろいろなことに興味や関心をもってとことんできる環境を保障していく。
- ・自然とのかかわりを通して、見たり、不思議さを発見したり、なぜ？と疑問に思ったり、ふれたり、調べたりを存分に、周囲の環境への興味を広げていく。
- ・四季を通して自然とのかかわり、子どもの好奇心や探求心を大切に、子どもの学びたい気持ちを育てていく。
- ・地域の環境（場所・こと・人など）にふれ、自分の住んでいる地域に親しみを感じられるようにしていく。（ジオ活動・キャリア教育）

元気な子
（健康な体）

- ・子どもの生活リズムを大切に、健康で情緒の安定した生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整えていく。
- ・十分に体を動かす気持ち良さを体験し、自ら体を動かそうとする意欲が育つようにする。
- ・「食べるって楽しいね」を根底にゆったりとした雰囲気の中で安心して食べられるようにする。幼児期には、食べ物について興味関心を持ち、体とのつながりに気づけるようなかかわりや食事のマナーも身につくようにかかわっていく。
- ・安心して午睡ができるよう、安心な環境となっているかを考え整えていく。
- ・四季に触れ体で季節を感じたり、一年中を通して、東小グラウンドに行き、全身を使っての遊びや雪遊びを楽しみ、体の使い方や丈夫な体が作られるようにしていく。

愛着形成を土台に自己肯定感を育みながら、心情・意欲・態度へと結んでいきます。

家庭との連携

- ・温かなやりとり、愛情たっぷりの子育てをする。
- ・お便りや懇談会などを通して、保育方針について理解を図る。
- ・早寝早起きおいしい朝ごはんを習慣化する。

ひがしっこ地区が大好き！

地域の環境と共に遊び、共に学び、感じる体験をたくさん。

子どもの未来は無限

自分に自信をもち、いつか夢を描く子どもへ。

保育園

地域との連携

- ・地域の自然・伝統文化にふれる。
- ・子どもたちの活動を支援してもらう。
- ・日頃より地域の方と交流する。
- ・災害時など避難を支援してもらう。

小学校との連携

- ・小学生・先生方と交流をしていく。
- ・保育参観、授業参観。
- ・保小連絡会議の開催。（職員間交流）
- ・園だより、学校だより、行事案内送付。

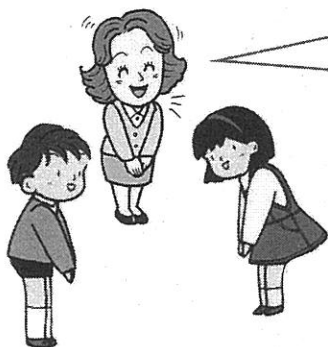
糸魚川市子ども一貫教育方針の基本理念

- 心・健康・学力のバランスのとれた子どもを育てます。
- 一人ひとりの個性を生かしてその能力を伸ばし、子どもの夢を育てます。
- ふるさと糸魚川をよく知り、郷土を愛する子どもを育てます。
- 家庭、地域、園・学校が力を合わせて糸魚川の子どもを育てます。



0歳から18歳までの子ども一貫教育方針

健やかな体の育成・豊かな心の育成・確かな学力の育成が一貫教育方針の3つの柱です。また、糸魚川市の教育における大きな特色である「糸魚川ジオ学」や「夢を育てる」を、重要な教育活動として位置付けます。



豊かな心の育成

自己肯定感を高め、豊かな心と社会性をもつ子を育てます。

- 家庭では
家族との関わりにより愛着を形成します。
- 地域では
地域との関わりにより社会性の育成に努めます。
- 園・学校は連携して
体験活動により道徳性や社会性を育成します

健やかな体の育成

規則正しい生活リズムを身に付け、自分の健康を管理する力をもつ子を育てます。

- 家庭では
愛着形成から基本的生活習慣を身に付けさせます。
- 地域では
安全で安心できる環境づくりに努めます。
- 園・学校は連携して
健康教育、食育に積極的に取り組みます。



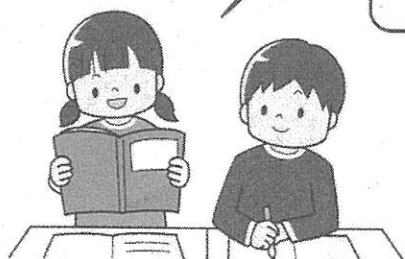
早寝早起きおいしい朝ごはん応援隊

確かな学力の育成

学び合いにより学習意欲を高め、確かな学力を身に付ける子を育てます。

交流及び共同学習をとおして自立して学ぶ子を育てます。

- 家庭では
愛着形成を図り、確かな学力を支える環境づくりに努めます。
- 地域では
キャリア教育、ジオ学習などへの支援をします。
- 園・学校は連携して
学びの連続性を図る一貫した学習指導を行います。
一人ひとりに応じた途切れない支援を行います。



● 子どもたちを乗せて気球が飛んでいるグランドデザインに込めた願い

表紙のグランドデザインのベースは、糸魚川ユネスコ世界ジオパークの認定を受けた糸魚川の豊かな大地です。その上には「家庭」「地域」「園・学校」が相互に交流し連携をとりながら、気球に乗る子どもを育てていくイメージを描いています。子どもの健やかな成長の様子を気球に見立て、私たちは「愛着形成」「自己肯定感の育成」「自立支援」といった暖かな「風」を送り続けます。この風が、家庭、地域、園・学校からの指導と支援です。

風を受けた子どもが乗る気球はさらに大きく膨らみ、徐々に高度を上げていきます。気球が高度を上げるにつれ、雨や風雪に耐えるなどの様々な体験を重ね、視野を広げていきます。ここでは、より高みを目指すような自助努力を子どもに期待しています。

上空に漂う雲は、「ジオパーク学習」「夢を描き、夢を育てる」の2つをイメージしました。雲は太陽の光を受けることで一層かがやき、また、様々な姿を変えて循環し、地域に恵みをもたらします。恵みを受けた自然のエネルギーも子どもの気球に吹き込まれる「愛の風」になって、再び子どもの気球を大きく膨らませてくれます。

いつか成長し大人になる子ども。

気球は糸魚川の大地に戻り、気球に乗っていた子どもたちは、今度は、次代の子どもを育てる「風」を送り込む立場になって、教育に貢献していきます。

このような思いや願いを込めて、グランドデザインを構想しました。

「日本一の子ども」とは、自信をもって世の中に力強く歩み出す子どもの姿を表したスローガンです。

家庭、地域、園・学校が、それぞれの役割を自覚し、環境を整え、責任をもって教育に取り組みます。子どもたちに自立を促し、社会に送り出すよう努めます。一人ひとりが描く子どもの姿は違って、個性や能力をみんなで大切に伸ばそうと取り組むことで、他に誇れる子どもを育てることができます。

